



10月の授業、
そして<秋イベント>も・・・
皆さんと、たのしい学びの創造を！

■誰でも描ける・絵画入門！・キミ子方式で<ねこじゃらし>を描きます。



ネコジャラシ・・・

エノコログサ（狗尾草、学名：Setaria viridis[1]）は、イネ科エノコログサ属の植物で、1年生草本である。ブラシのように毛の長い穂の形が独特な雑草である。

*

夏から秋にかけてつける花穂が、犬の尾に似ていることから、犬っころ草（いぬっころくさ）が転じてエノコログサという呼称になったとされ、漢字でも「狗（犬）の尾の草」と表記する。ネコジャラシ（猫じゃらし）の俗称は、花穂を猫の視界で振ると、猫がじゃれつくことから。

<キミ子方式>とは

①色は<赤・青・黄色>の3原色と白の4色で描く。
②題材によって、描き始めの一点を決める。
③その一点から「植物だったら成長の順番に」「動物だったら毛の流れに」「人工物は作っていく順番」に、・・・<となり、となり、>と下書きをせず（直接絵の具で描きすすめていきます。（人工物は下書きあり）

④描きすすめて、絵が画用紙に入らなければ、画用紙を足して大きくし、逆に画用紙に対して絵が小さかったら回りの余白を切って、絵に合わせます。つまり、画用紙の大きさに合わせて描くのではなく、画用紙の大きさを絵に合わせるという発想です。★モデルは、本物のモデルを用意。想像して描くではありません。

★背景を描くことのないように、色のついた画用紙を使います。

●このように、今まで絵を描いてきて失敗になるような要素をなくしていきます。これが<キミ子方式>の簡単な説明です。初級入門コースは・①色作り②もやし

③イカ ④毛糸の帽子 ⑤空 ⑥ハガキ絵 ⑦カット ⑧季節の野菜

中級コース①季節の草花・・・と続きます。●今日は、初級コースを飛ばして、いきなり、中級コース①季節の草花・野草・・・を描くことにします。今日の授業は、長らく<キミ子方式>の授業を実践してきた、竹内清和先生と音田で進めます。

皆さん！たのしくチャレンジして下さい。

■**仮説実験授業は、提唱50周年を迎えました！・・・これからです！**

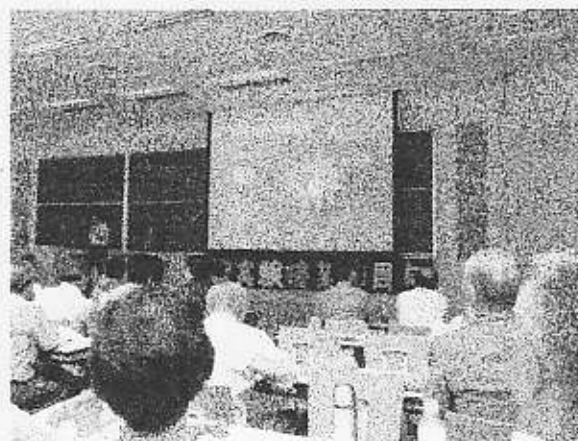
板倉聖宣先生（日本科学史学会・会長）が教育の全面的改革を目指して、仮説実験授業を提唱したのが1963年。板倉先生が、東大大学院から国立教育研究所・所員として研究活動を本格的に始めた頃でした。

それから50年、数多くの授業書作成に成功し、それをもとに基本的な教育改革の骨格と50年の実践による実績を創り上げることができました。

しかし、私たちの研究活動はあまりにも鎖国的であったため、多くの人に、「素晴らしい授業書と授業方法を知らせる（体験してもらう）ことには、成功したとは言えない」のもまた明確な事実です。



↑休憩中の板倉先生



研究発表＜触媒の科学＞↑楽しさ100倍

●**仮説実験授業のたのしさ！素晴らしさ！**を知るもの一人として、これからもより精力的に、「**たのしい科学実験教室を数多く企画して実践したい**」と思いません。嬉しいことに、アメリカ・オランダ（行く予定で構想中）・ベトナム（音田、研究仲間と3回授業しにいきました）中国・フィリピン・オーストラリアなどの教育関係者が、「**仮説実験授業を高く評価し、その具体化も始まっている**」とのことです。

嬉しいニュースにも刺激を受けながら、私はこれからも＜大阪府高齢者大学校・子ども教室研究科＞を活動基盤にして、より力強く実践したいと思います。

9月29日（日）東京（法政大学・市ヶ谷学舎）でありました、「**仮説実験授業提唱・50周年記念の会**」に参加して未だに興奮しております。

*

●無能な私でも、皆様にご協力いただければ、**＜たのしい科学実験教室は運営できる＞**と確信しております。26年度には、**＜法円坂子ども教室・常設教室＞**も始めるつもりで企画中です。これからも今まで以上に、皆様の知恵とスキルをお貸し下さい。どうぞよろしく願います。（音田輝元）